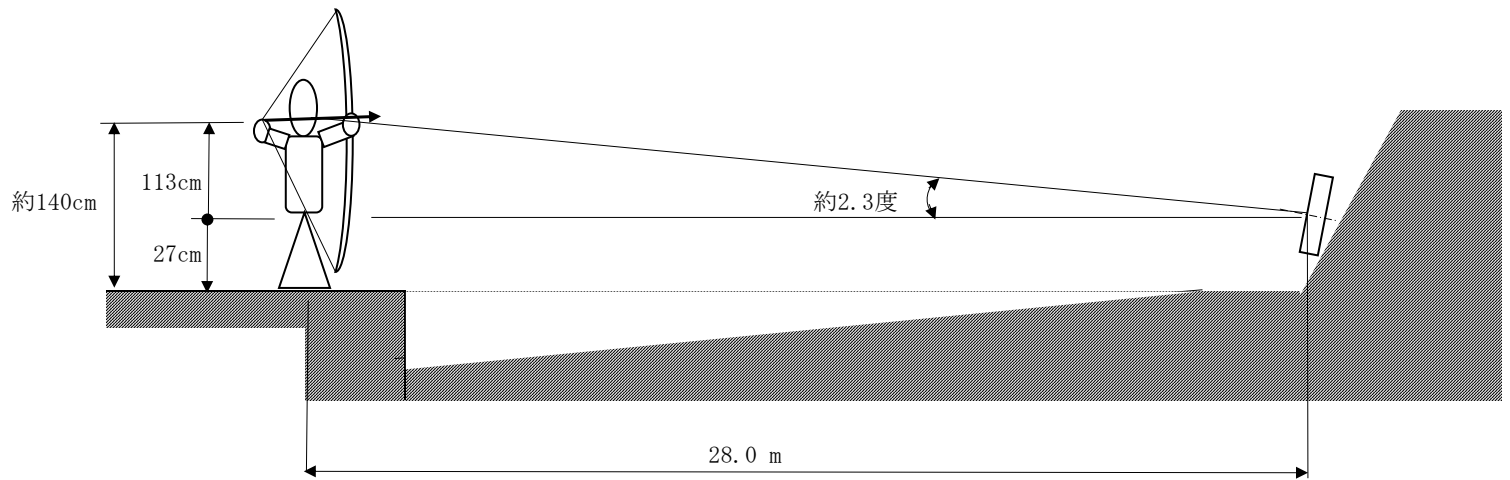
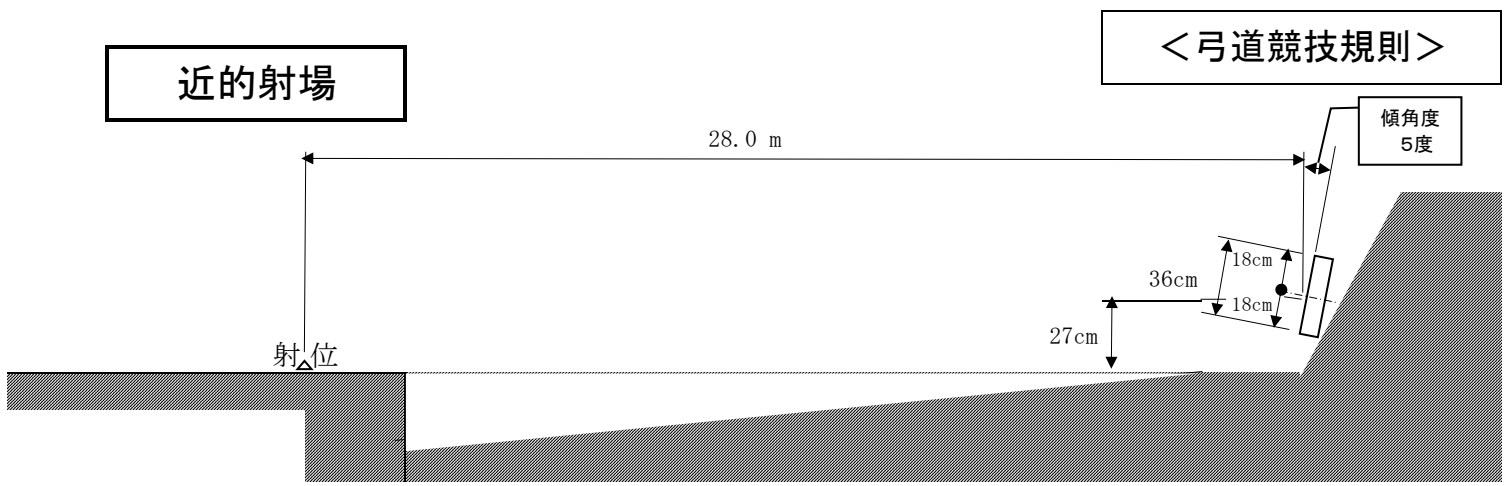
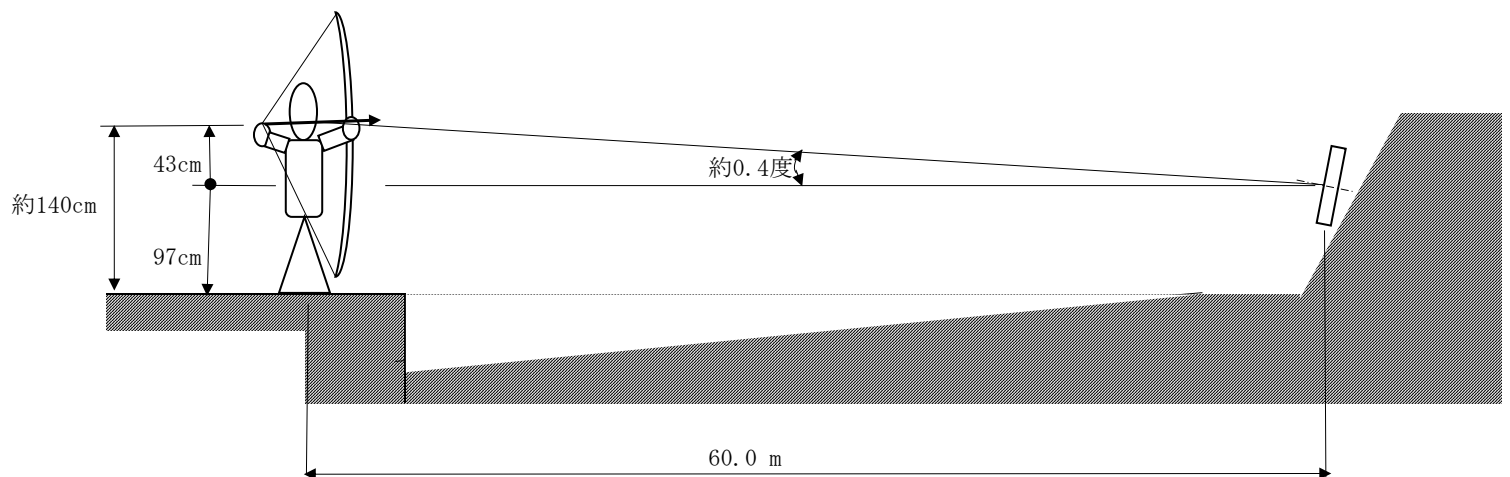
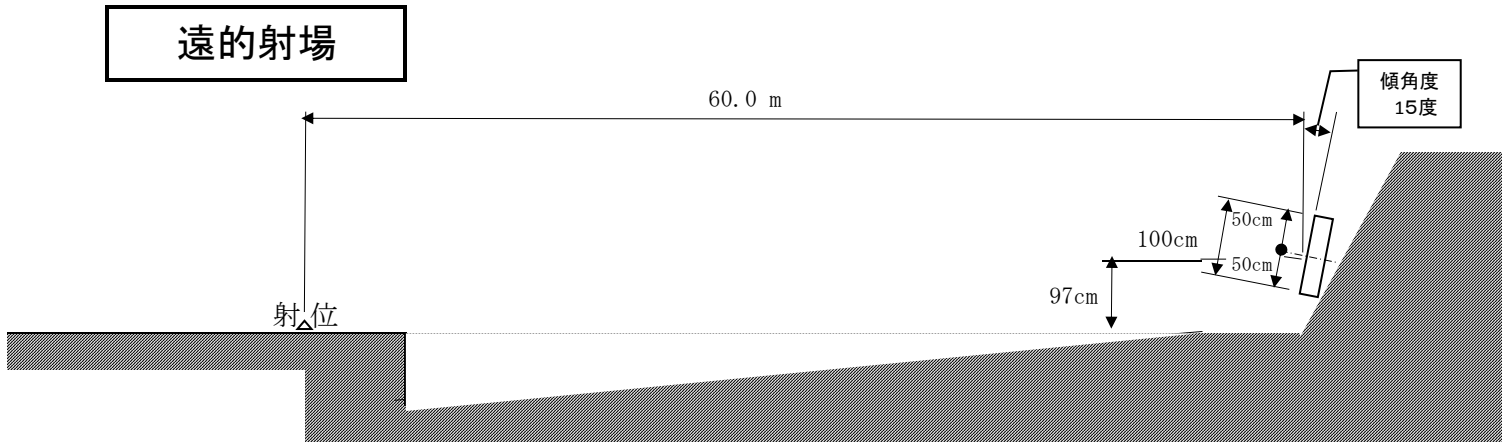


<弓道競技規則>

近的射場



遠的射場



弓道競技運営要領（運営マニュアル）

第2章 会場の設営

第4条 競技会場

- [1] 競技会場とは、競技を行う場所（射場・控・矢道・的場・審判席・観覧席）全体をいう。
- [2] 競技会場は、競技種目により、近的会場（射距離28m）と遠的会場（射距離60m）がある。
- [3] 競技会場の広さは、競技規則に準じ制定する。

第5条 【競技射場】

- [1] 競技射場（以下「射場」という。）は、行射をする場所（審判席を含む）の範囲をいう。

第6条 【射場の設営】

[1] 施設の基本

(1) 施設の各部寸法・・・近的・遠的共通

- ① 天井の高さは、標準4.0m。（3.8m以上）・・・参：1.9(身長)+0.3(手)+1.4(弓)+0.2(余裕)=3.8m
- ② 行射口（射場前端開口部）の高さは、標準2.7～3.0m。（2.5m以上）
- ③ 入退場口の間口は、標準2.4～2.7m。（1.8m以上）

(2) 近的射場の標準寸法

- ① 射位と本座間の距離は、標準2.0m。
- ② 選手1番と脇正面審判席の距離は、1.8m以上。
- ③ 選手間の距離は、標準1.8m。（1.6～2.0m）
- ④ 選手落番と後方壁の距離は、1.4m以上。
- ⑤ 本座と後方競技役員席の距離は、3.0m以上。

(3) 遠的射場の標準寸法

- ① 射位と本座間の距離は、標準1.1m。
椅子を使用する場合は、本座の手前0.8mに椅子前端を設置。
- ② 選手1番と脇正面審判席の距離は、1.8m以上。
- ③ 選手間の距離は、標準1.6m（1.4～1.8m）
- ④ 選手落番と後方壁の距離は、1.4m以上。
- ⑤ 本座と後方競技役員席の距離は、4.0m以上。

[2] 射場の基本

(1) 行射位置の明示

- ① 射位に「射位札」を置く。
- ② 本座に「本座札」を置く。
- ③ 全ての立位置に「立札」を置く。

[3] 近的射場（坐射・持的）

(1) 5人立×1射場の場合・・・《巻末図Ⅱ-①》

- ① 審判席は、脇正面に配置。
- ##### (2) 3人立×2射場の場合・・・《巻末図Ⅱ-②》
- ① 審判席は、右前の後方に配置。
 - ② 射場間（第1射場3番と第2射場1番）の間隔は、1.8m以上。

[4] 遠的射場（立射・的1個）

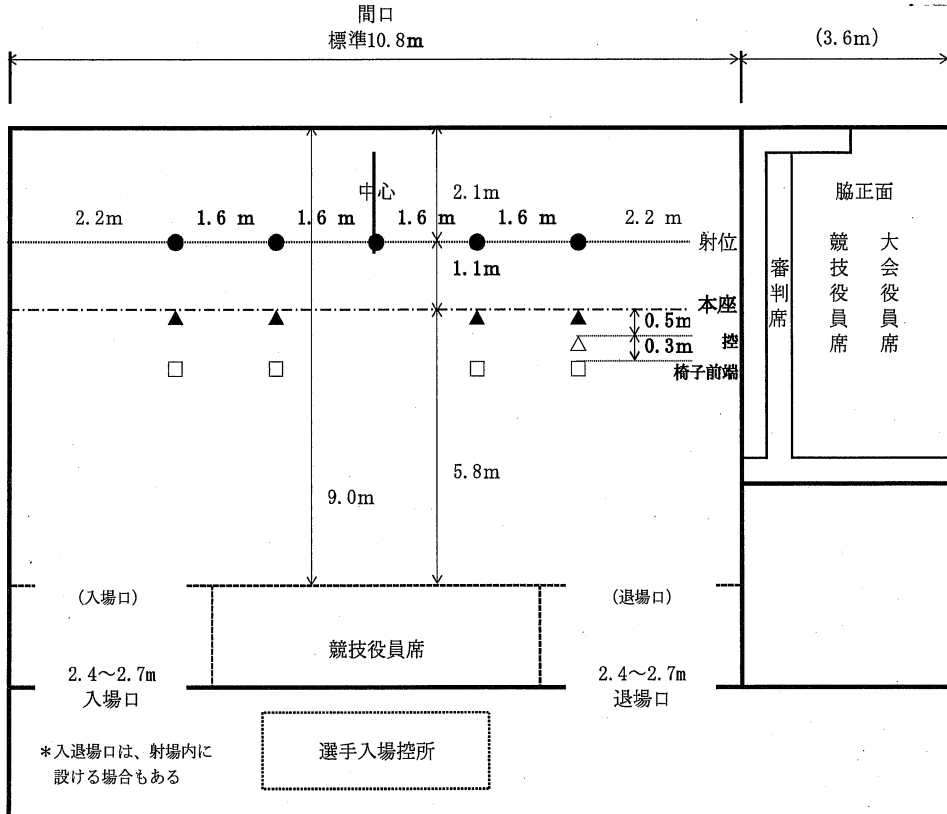
(1) 5人立×1射場の場合・・・《巻末図Ⅱ-③》

- ① 審判席は、脇正面に配置。
- ##### (2) 3人立×2射場の場合・・・《巻末図Ⅱ-④》
- ① 審判席は、右前の後方に配置。
 - ② 射場間（第1射場3番と第2射場1番）の間隔は、1.6m以上。
 - ③ 的は、選手間中心になるように配置。

<弓道競技運営要領>

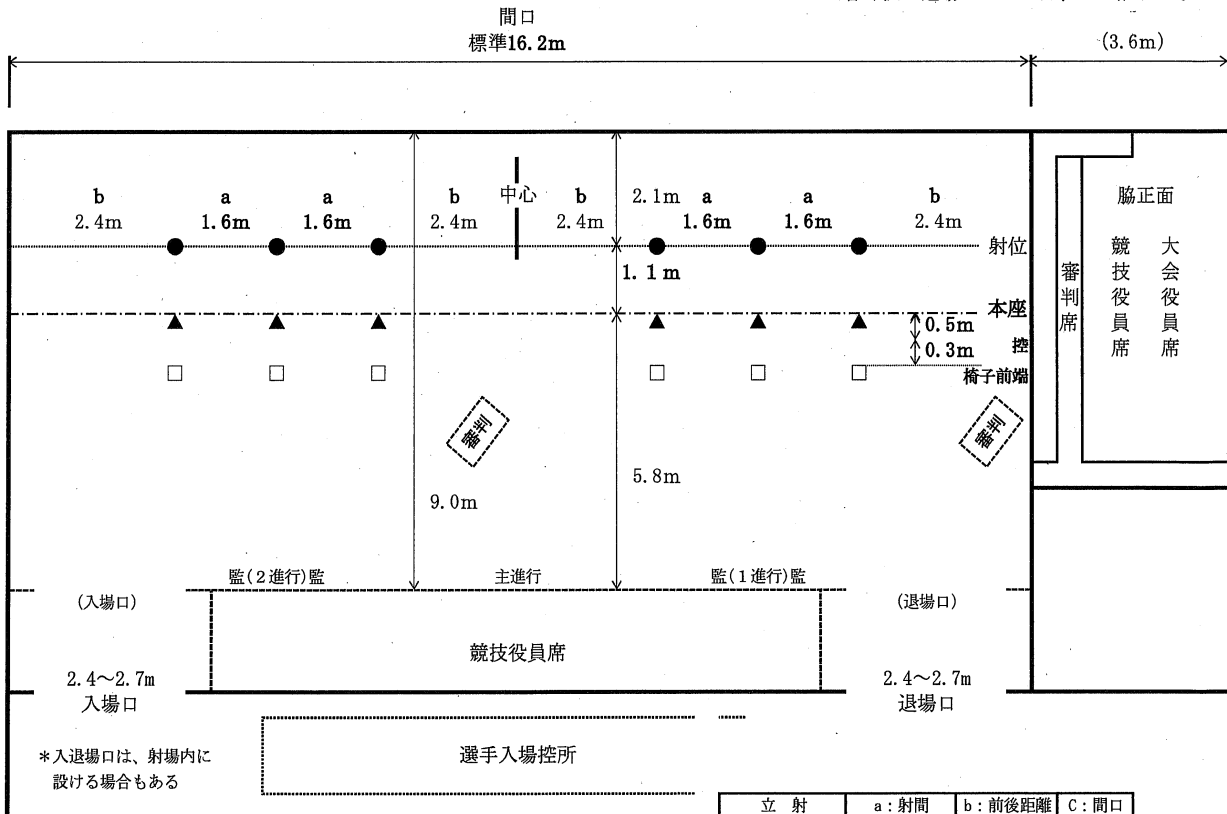
図Ⅱ-③ 遠的射場 立射 5人立×1射場の1個 射場審判席脇正面

*各寸法：道場によっては、この限りでない



図Ⅱ-④ 遠的射場 立射 3人立×2射場の各1個 射場審判席後方

*各寸法：道場によっては、この限りでない

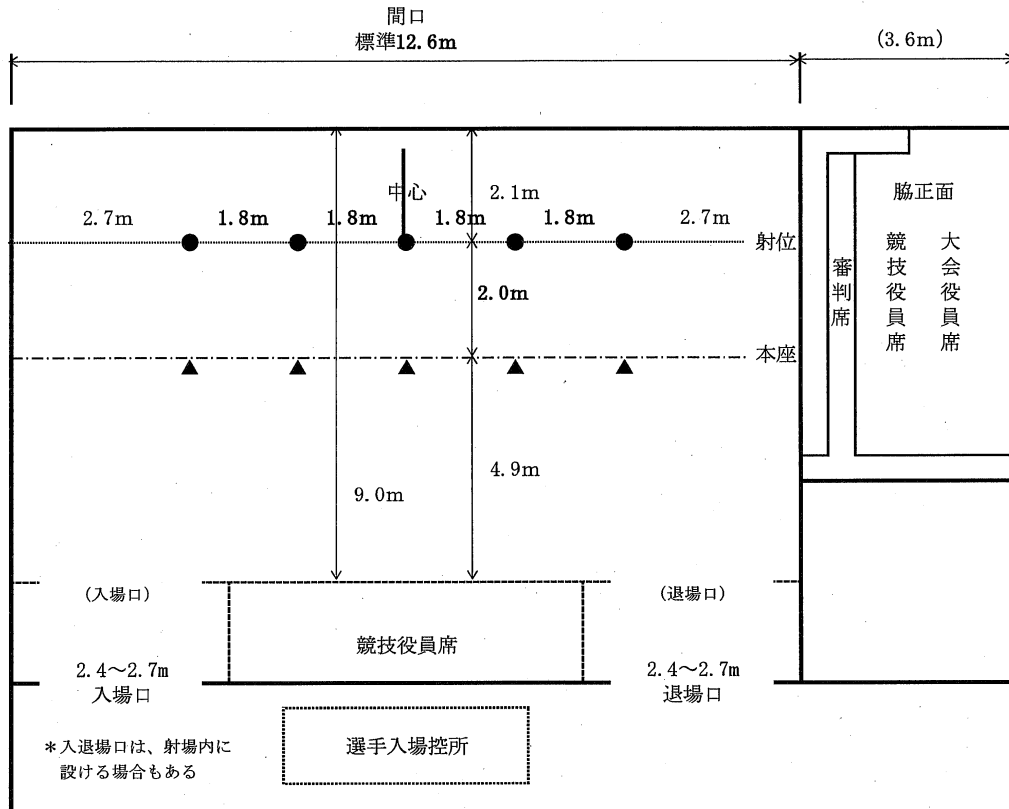


立射	a: 射間	b: 前後距離	C: 間口
3人立×2射場	1.6×4m	2.4×4m	16.2m
5人立×2射場	1.6×8m	2.2×4m	21.6m

<弓道競技運営要領>

図Ⅱ-① 近的射場 坐射 5人立×1射場 持的 射場審判席脇正面

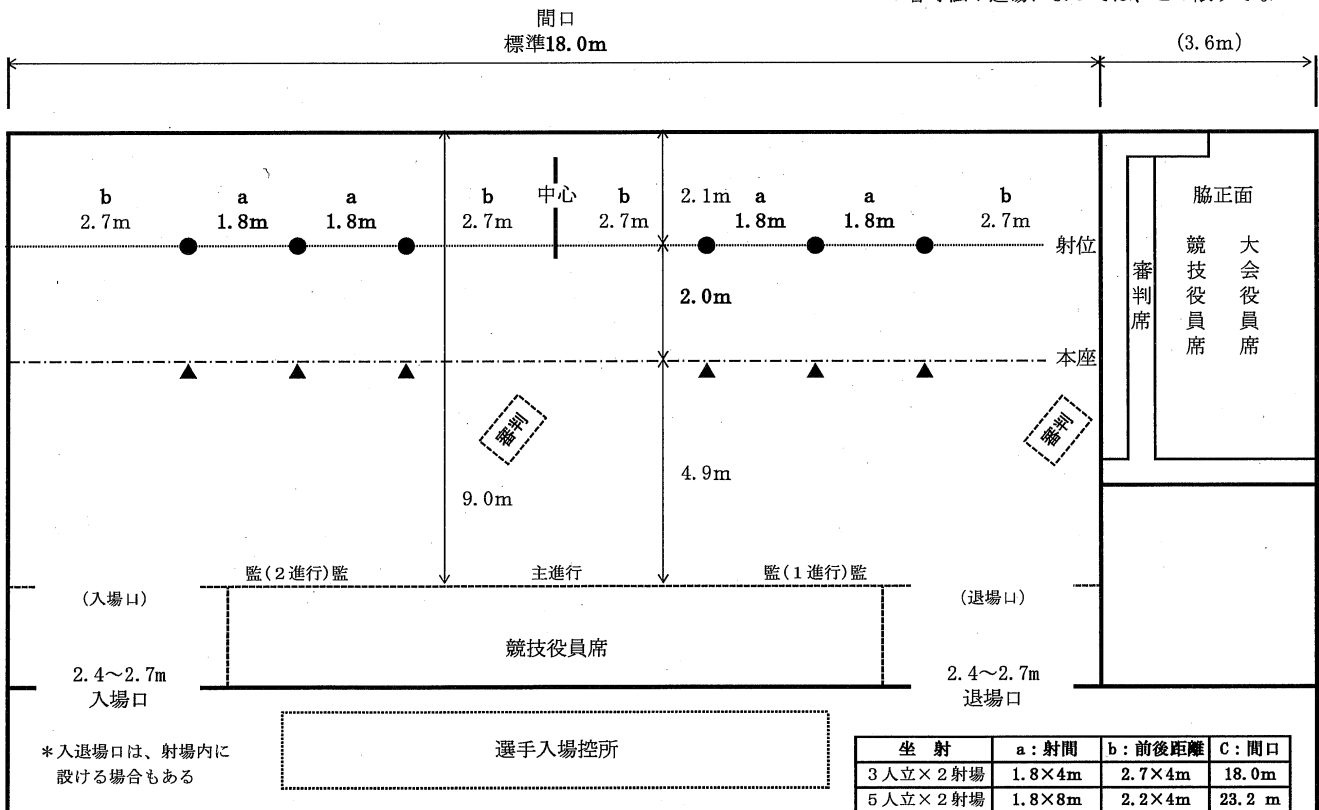
*各寸法：道場によっては、この限りでない



*入退場口は、射場内に設ける場合もある

図Ⅱ-② 近的射場 坐射 3人立×2射場 持的 射場審判席後方

*各寸法：道場によっては、この限りでない



*入退場口は、射場内に設ける場合もある

坐射	a: 射間	b: 前後距離	C: 間口
3人立×2射場	1.8×4m	2.7×4m	18.0m
5人立×2射場	1.8×8m	2.2×4m	23.2 m